

少数台数のリコール届出の公表について（平成23年11月分）

リコール対象が少数である100台未満の届出について、平成23年11月は9件の届出がありましたので、公表します。

1. 届出者：三菱ふそうトラック・バス株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
11月4日	2844	車名：三菱 型式：SKG-FEB90 通称名：ふそうキャンター	2	平成23年7月19日～ 平成23年7月21日
不具合の部位等	小型トラックにおいて、ナックルアダプタのナックル嵌合穴加工が不適切なため、当該アダプタの取付けボルトの軸力が不足しているものがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、取付けボルトの脱落や折損が生じ、最悪の場合、当該アダプタが回転して前輪のブレーキホースが損傷し、前輪のブレーキが利かなくなるおそれがある。			

2. 届出者：TCM株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
11月8日	2842	車名：TCM 型式：F24 他 通称名：FD30Z5 他	50	平成8年1月24日～ 平成23年3月28日
不具合の部位等	フォークリフトにおいて、オプション設定した排気管の開口部が、右向きとなっている。そのため、排気ガスが他の交通に悪影響を及ぼすおそれがある。			

3. 届出者：株式会社小松製作所

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
11月8日	2845	車名：コマツ 型式：KDP-M248 通称名：FD80	10	平成20年10月6日～ 平成23年3月8日
不具合の部位等	フォークリフトにおいて、かじ取り車輪の後輪タイヤ及びリム側面とリヤアクスルの隙間が不足しているため、ハンドルを最大切れ角まで操作すると、後輪タイヤ及びリム側面とリヤアクスルが接触するものがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、後輪タイヤ及びリムが損傷するおそれがある。			

4. 届出者：株式会社トヨタモデリスターナショナル

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
11月9日	2848	車名：トヨタ 型式：CBF-TRH200K改 他 通称名：ハイエース 他	5	平成19年5月16日～ 平成21年12月16日
不具合の部位等	福祉車両（電動スライドドア装着車）を事業用車両に改造した車両において、保安基準第23条第2項に定める通路要件である乗降口から座席へ通じるための必要空間が確保されていない。			

5. 届出者：三菱自動車工業株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
11月15日	2853	車名：三菱 型式：CBA-HA1W 他 通称名：アイ	3	平成23年 6月27日～ 平成23年 8月29日
不具合の部位等	助手席に介護用回転シートが架装された福祉車両において、架装業者での作業要領が不適切なため、当該シートに異品のシートベルトバックルを組付けたものがある。そのため、シートベルトが当該バックルに完全に固定せず、最悪の場合、外れるおそれがある。			

6. 届出者：日本輸送機株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
11月21日	2858	車名：ニチュ 型式：471AB 通称名：エレクトラック	28	平成20年11月 1日～ 平成23年 9月22日
不具合の部位等	ターレット式構内運搬自動車において、走行モータを動力伝達装置に取り付けるためのモータサポートの加工不良により、走行モータの出力軸と動力伝達装置の入力軸の芯がずれた状態で組み付けられたものがある。そのため、動力伝達装置の入力軸やカップリング、走行モータの出力軸のスプライン部が摩耗し、走行不能となるおそれがある。			

7. 届出者：日本輸送機株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
11月21日	2859	車名：ニチュ 型式：ZAF-221E 通称名：トランサー	12	平成23年 7月 4日～ 平成23年 8月 1日
不具合の部位等	バッテリーフォークリフトにおいて、走行モータのエンドカバーの加工不良により、走行モータの出力軸が傾いた状態で減速機に組み付けられたものがある。そのため、出力軸に過大な曲げ応力が加わることにより、出力軸が折損して走行不能になるおそれがある。			

8. 届出者：日野自動車株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
11月24日	2854	車名：日野 型式：LJG-HU8JLGP 他 通称名：日野ブルーリボンシティー	78	平成22年 7月13日～ 平成23年 3月 2日
不具合の部位等	大型路線バスにおいて、原動機の制御プログラムが不適切なため、アイドル回転で負荷が増大した場合に燃焼不良となり、カーボンデポジットの堆積で排気ガス再循環（EGR）クーラーが閉塞するものがある。そのため、そのまま使用を続けると、ターボのタービン翼が欠損し、エンジンチェックランプが点灯するとともに出力不足となり、円滑な走行ができなくなるおそれがある。			

9. 届出者：プジョー・シトロエン・ジャポン株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	輸 入 期 間
11月28日	外1798	車名：プジョー 型式：ABA-A75F01 他 通称名：207 他	34	平成22年12月18日～ 平成23年1月7日
不具合の部位等	左右のリア・ブレーキホースにおいて、配管取付け角度の管理が不適切であったため、隣接するリア・サスペンションスプリングに接近し過ぎているものがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、ブレーキホースがリア・サスペンションスプリングと接触し、穴が開き、ブレーキフルードが漏れ、最悪の場合、ブレーキが利かなくなるおそれがある。			

【参考】

●平成23年11月のリコール届出総件数

		内 訳	
		対象台数 100 台以上	対象台数 100 台未満
国産車	18件 (- 5)	10件 (- 9)	8件 (+ 4)
輸入車	6件 (- 3)	5件 (0)	1件 (- 3)
計	24件 (- 8)	15件 (- 9)	9件 (+ 1)

※ () 内は、対前年同月比

●リコール届出件数及び対象台数 (平成23年度)

<速報値>

月	届出件数			対象台数		
	国産車	輸入車	合計	国産車	輸入車	合計
4	6(-19)	6(-2)	12(-21)	1,335 (- 78,712)	3,757 (+ 459)	5,092 (- 78,253)
5	12(-4)	10(+4)	22(0)	465,720 (+437,620)	6,040 (- 2,778)	471,760 (+434,842)
6	23(-6)	9(-1)	32(-7)	396,008 (-104,147)	719 (- 5,287)	396,727 (-109,434)
7	15(-2)	6(-5)	21(-7)	73,797 (-134,047)	3,930 (- 7,358)	77,727 (-141,405)
8	9(+1)	4(+2)	13(+3)	5,343 (- 3,275)	1,671 (+ 1,661)	7,014 (- 1,614)
9	32(+11)	7(-3)	39(+8)	359,637 (-447,783)	12,921 (+ 7,053)	372,558 (-440,730)
10	9(-14)	10(+6)	19(-8)	289,327 (-2,155,338)	28,240 (+27,288)	317,567 (-2,128,050)
11	18(-5)	6(-3)	24(-8)	136,684 (-246,306)	61,782 (+46,314)	198,466 (-199,992)
小計	124 (-38)	58 (-2)	182 (-40)	1,727,851 (-2,731,988)	119,060 (+67,352)	1,846,911 (-2,664,636)

※ () 内は、対前年比